

教育長様

研究コース	グループ研究Bコース	選定番号	122
校園コード(代表者校園の市費コード)		711607	

代表者 校園名: 大阪市立長池小学校
校園長名: 河野 孝宏 校印
電話: (06)6622-6445 FAX: (06)6622-7564
申請者 校園名: 大阪市立生魂小学校
職名・名前: 教諭 山崎 恵子
電話: (06)6771-8474 FAX: (06)6771-0894
代表者校園 事務職員名: 表 秀子

平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究 報告書

◇ 平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	グループ研究Bコース	研究年数	継続研究(2年目)
2	研究テーマ	色や形に思いを広げつくり出す喜びを味わう 図画工作科指導のあり方を研究する ◆ 研究内容のキーワード: 研究の内容をキーワードで記載してください。(【例】学力向上、体力向上等) 教材開発 表現力の育成 鑑賞教育の充実 若手教員の指導力の向上 新学習指導要領			
3	研究目的	○ 新学習指導要領をふまえた図画工作科指導のあり方を探る ・題材(開発)、指導法、学習指導材、鑑賞、指導計画、評価 ○ 全市的な図画工作科の指導力の向上を図る ・実技研修会 授業研究会等 ○ 絵画展・版画展を実施し、児童の表現への理解を深める場とする			
4	取り組んだ研究内容	いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。 1 新学習指導要領の3つの目標に沿って低・中・高学年部会で6月から12月に各3本計9本の授業研究を柱に以下の内容に取り組んだ。 ① 子ども一人一人のよさや可能性を伸ばすために、子どものもてる力を具体的に捉えた。 ② 造形的な創造活動の基礎的な能力を分析的に捉え、支援のあり方について研究した。 ③ 子どもが持てる力を発揮できる題材について、開発・研究した。 ④ 子どもの資質や能力が確かな力となるように、題材と題材の関連性を考え、指導計画を工夫した。 ⑤ 子ども自らが進んで取り組む鑑賞のあり方を特に美術館などの施設を活用した鑑賞活動や普段の授業の中で、鑑賞と表現の一体化を図った。 2 実技研修会や講演会を実施し、指導力の向上を図った。 ① 若手教員や研究委員のための研修会や実技研修会、講演会を実施し、指導力の向上を図った。 ② 一般教員対象の実技研修会を実施して、指導力の向上を図るとともに、講師としての研究委員自身の指導力も向上させた。 3 夏季休業中、大阪市立中央図書館で大阪市小学校児童絵画・版画展を実施し、大阪市の全部の区から集めた作品を展示し、保護者や一般市民にも公開し、児童の自尊感情を高めるとともに、児童の作品への理解を深めることができた。			

申請書に記載した検証方法に基づいて取組を分析し、具体的に記載してください。

【授業研究による検証】

・昨年に引き続き低中高9本の授業研究に指導案検討会を複数回実施した。教科書教材の深化、広がりのある題材、新題材の開発等を題材選びの基本に、それぞれについて材料用具、場の設定、授業展開、評価等について研究の視点にあげた項目と関連付けて検討していった。授業研究会では研究の視点に沿って授業の分析を行うとともに、事前検討での意見も含め検証し、成果と課題を整理した。授業研究会の内容等については部会だよりにまとめ全研究員に発信し、共通理解を図った。新しい材料の試行やICT機器の活用の可能性、評価規準等、各部会とも新たな内容を加えて充実した授業研究会を実施することができた。

【講演会・実技研修会における検証】

・「どの子ども表現できる図画工作科の指導について」をテーマに平安女学院大学の黒岩和子先生を講師に研究委員対象の講演会を実施した。指導要領の要点、子どもの表現の特長、指導する際におさえるべきこと、実践事例紹介と盛りだくさんの内容で参会者からは「授業にすぐに活かしたい」「実践例が豊富でわかりやすかった」等、指導力の向上に大きく役立ったという声をたくさんいただいた。

・教育センターからの依頼による新任教員、一般教員対象の実技研修会是一部台風の影響で日程の変更はあったがすべて実施することができた。新任研修は10グループに分かれ、図画工作科の基本的事項の描画材を中心に実技研修を行った。どのグループも熱心に取り組み明日からの授業に活かせる等の声が聞かれた。また、一般教員対象の実技研修ではいくつもの造形遊びを試す場を設けたり、切り絵で名前をデザインしたりし、好評であった。

図画工作部員対象の実技研修会も各部の主催で行った。低学年は「紙を使った造形表現」、中学年は「ファイバークラフト紙を使って」、高学年は色水を使っての造形遊び「光と影のハーモニー」の3つの題材で研修をした。身近な材料である紙を使い幅の広い表現ができる題材、新しい素材の特長を生かした表現、光と色ので表現する造形遊びと各部会とも次に活かせる実技研修会であり、参加者からはすぐにも実践したいという声を多数いただいた。

・大阪市小学校教育研究会主催の若手教員対象の基本研修会では図画工作科の特色や指導のポイントを伝えるとともに、紙の操作による「シャツづくりとそれを使った線描の基本の実技研修を行った。「図画工作科について大事な点がわかった。」「自分の学級で実践したい。」等の声が寄せられた。

【がんばる先生支援グループ発表・総合研究発表会における検証】

・長池小学校で実施した「がんばる先生支援」グループ発表、総合研究発表会2年次発表では長池小学校の教員による全学年6本の公開授業と図画工作部の研究概要、低学年部・中学年部・高学年部3グループによる実践事例計9本を含めた本年度の研究実践の発表を行った。

また、指導要領作成委員の福岡知子先生より指導講評をいただいた。指導講評では公開授業の講評、図画工作部の研究の方向性や一つ一つの実践事例について、次期学習指導要領の観点からその題材の妥当性や可能性についてご指導いただき大変有意義であった。参加者は来賓、他校種の教員を含め684名と大盛況であった。アンケートの回収は130名分であったが、そのうち92名(70.8%)が「大変参考になった」、38人(29.2%)が「参考になった」の評価をいただき、4段階評価のうち、肯定的評価が100%であった。「具体的な実践方法が示され今後の指導の参考になった。」「今までに見たこともない題材、面白い内容の紹介があり、興味を持って聞くことができた。」「プログラミング的思考や地域とのつながりなど今、学校に求められていることが図工でもできることに驚きました。」等々、参考になった、今後に活かしたいという感想を多数いただいた。

【児童絵画・版画展における検証】

・2月実施の大阪市立小学校児童作品展（大阪市教員会館主催）と夏季休業中実施の大阪市小学校児童絵画・版画展（図画工作部主催）の開催に向けて、各区で作品選定学習会を実施した。各学校から持ち寄った作品を鑑賞し、作品の見方や指導法について区単位で研修を深めた。

・大阪市小学校児童絵画・版画展では各校2点の平面作品が出品され、前期・後期に分けて展示した。期間中（8月3日～15日 於：大阪市立中央図書館）多くの保護者や地域の方、図書館利用の方が来場された。作品の搬入時には図画工作主任にも呼びかけ、作品学習会を合わせて実施した。全市の作品を見ることができるので、参加いただいた図画工作主任の方々にも好評であった。また、保護者や地域の方々からもアンケート（回収69名）により次のような好意的なご意見をたくさんいただいた。

「子どもたちのがんばりやパワーが作品から伝わってきました。」「多くの絵が飾られている中、わが子の絵が展示されていて、とてもありがたく誇りに思いました。」「どの作品も個性があつてとても楽しめました。」「いろんな技法を使って描かれた作品をたくさん見ることができて良かったです。」「たまたま図書館を訪れて鑑賞しました。画用紙からはみ出しあふれる想像力に感激しました。」「完成度が高く驚きました。見に来てよかったですと思います。」

5 成果・課題

6	研究発表等の日程・場所・参加者数											
	日 程	平成	31	年	2	月	1	日	参加者数	約	684	名
	場 所	大阪市立長池小学校										

※上記の内容について、原則としてフォントは10ポイント、A4判2ページ(両面印刷1枚)で作成し、平成31年2月25日(月)までに、大阪市教育センター「がんばる先生支援」担当まで提出してください。(研究資料等を添付)